

魚沼園芸 ものずき村(新潟県魚沼市)

～地域の交流の場を創出し、高齢者の知恵を活かした地域活性化～

代表者:中丸 幸(なかまる みゆき)
所在地:新潟県魚沼市
構成員:役員3名(村長、助役、収入役)
ものずき村議員7名
活動開始年月日:平成19年8月



スタッフの皆さん

取組内容

1. 高齢者と地域の消費者の交流の場の創出

- 高齢者と地域の消費者が交流できるお茶のみ場作りを目指し、平成19年に「魚沼園芸ものずき村」を開設。地域の農業者は販売する場ができたことで生産意欲が高まり、出荷者は開設当初の60名から200名に増加しました。
- 直売所に設置したお茶のみ場に、地元で採れた山菜や野菜を使った家庭料理、伝統料理を並べ、交流の場を作ることで、出荷者同士や消費者とのコミュニケーションが深まってきたことに加えて、地域の1人暮らしの高齢者などのオアシス的な存在となっています。
- 県のにいがた「なりわいの匠」等の技術認定を受けた出荷者は、自ら作った工芸品等を直売所で販売しています。
- 積雪期(12～2月:休業期間中)は普及センター職員を講師に、週1回定期的に栽培勉強会を開催、出荷者の情報交換の場としています。

2. 遊休農地等の活用

- 手打ちそば処「げんたん」を直売所に併設し、地元の転作田等で栽培されたそば粉を100%使ったそばを提供しています。遊休農地の有効利用や魚沼産そばのPRにもなっています。
- 近隣の集落と連携し、遊休農地を復旧して、わらび園やブルーベリー園を造成。来園者には、わらびの収穫やブルーベリーの摘み取りを実施し、余剰のわらびはものずき村で漬物に加工して直売所で販売しています。



ものずき村全景



ようこそ「ものずき村」へ

3. 農作業体験・食育を通じた地産地消

○来村客から要望がある農作業体験を年13～14回実施しています。

4. 都会と郷里のつながりを提供

○上京した郷里の方にふるさとを感じてもらうため、ものずき村の出荷者が栽培した地場農産物や山菜などを詰めた「ふるさと便」を発送しています。この「ふるさと便」は、都会と郷里をつなぐパイプ役となっています。



地場野菜 & POP



農作業体験の様子

最近の取組

<最近の取組について>

①観光資源(スキー場と民宿)と連携した地域の活性化、地域貢献

- ・昨年度、民間の福祉厚生財団が実施する地域社会創造助成事業に採択され、ものずき村の実績と影響力を守門地区の民宿の活性化に繋げるべく、大学生による守門地区の観光資源の調査を実施、独自の観光ルート(散策マップ)を作成しました。
- ・ものずき村の紹介とマップを合体させたパンフレットを作成しており、今後は地域を案内する地元のガイドを養成することとしています。

②新しいアクティビティの創造

- ・今年度も上記事業へ応募、より多くの観光客誘致と地域活性化を目指し、宿泊施設業者との情報交換、お客様のニーズ調査と県内・首都圏旅行社への売り込みを行う予定です。
- ・また、新しいアクティビティを確立していくために、既存のわらび園やブルーベリー園、きのこの山を整備していく予定で、今年の秋には、わらび園を40aから70aへ増設し整備します。

魚沼園芸 ものずき村

○新潟県魚沼市三淵沢40-1

○TEL 025-799-4801

FAX 025-799-4801

○定休日:毎週水曜日



手打ちそば処「げんたん」、広神のそば